

野菜機械化一貫体系の導入による規模拡大及び所得の向上

事業名：経営構造対策事業（平成14年度認定）
 地区名：三重県一志町一志地区
 事業主体：有限会社 土夢パワーファーム
 施設名：高生産性農業用機械施設（H14）
 ハイクリアランストラクター
 野菜移植機
 乗用管理機
 キャベツ収穫機各1台
 農機具格納庫99.71m²
 事業費：19,792.5千円（国費：9,896千円）

1. 組織の概要

- (1) 組織名：有限会社 土夢パワーファーム
 (2) 構成員：社員3名
 (3) 設立年月日：平成7年3月2日
 (4) 業務内容等： 農畜産物の生産加工及び販売
 農作業の受託
 (5) 連絡先：三重県一志郡一志町大字日置256番地の6
 059-293-5409

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

土夢パワーファームの発足当時（平成7年3月）の野菜作は、水稲作の冬季における余剰労働力活用が主な目的であったが、米あまりによる転作面積の拡大、米価の下落等の影響により、収益性の高い野菜作を拡大することで経営の安定を図る必要が生じてきた。会社発足当時から冬季のキャベツ、はくさい等を4ha程度栽培し、量販店、食品加工業者への直販を行うとともに直販のルート開拓にも積極的に取り組んできたことから、生産した野菜に対する需要は充分に見込める状況でもあった。

これらのことから、平成13年度には、栽培作業の一貫した機械化体系を整備し野菜の作付け拡大に取り組むことにした。

(2) 取組概要

野菜の定植から収穫までの栽培作業を一貫して機械化し、機械化前の10a当たり労働時間、約60時間を約30時間程度に短縮し作業効率を上げ、作付け目標面積を5倍強の22haまで拡大して生産に取り組んでいる。また、野菜販売の80%は小売・加工業者等との契約栽培で安定した収益を確保している。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の 解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標割 合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加率 %	計画時 (ha)	目標 (ha)
17	25	147.1	2.6	2.6	(42.4%) 277.8	(52.4%) 343.5	10.0	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

新規就農者数		水田農業構造改革目標	
計画時(人)	目標(人)	計画時	目標
0	5	-	-

整備施設

ハイクリアランストラクター



農機具格納庫

